

My favorite place

青森市薬剤師会 神田大輔

今回 My favorite place を担当します青森市薬剤師会の神田と申します。

私の大好きな場所は、山の奥深くにある美しい溪流です。趣味のフライフィッシングを楽しみながらゆっくりと過ごせる、私にとっての特別な場所です。

皆さんは、フライフィッシングをご存知でしょうか。

カゲロウ、トビケラのような水生昆虫を模した擬似餌（フライ）を用いて、それを餌とするイワナ、ヤマメなどを狙う釣りです。仕掛けとなるフライは、鳥の羽、獣の毛などをフックに巻き付けて作ります。フライには古くからさまざまなパターンがあり、カディスやパラシュートなど、種類や大きさの異なるものを用意して溪流に向かいます。使う素材や作り方にも人それぞれの工夫があり、そこも面白さの一つです。溪流魚は意外とグルメで、時期によっては特定の種類の昆虫しか食べないこともあります。そんな魚の好みに合わせてフライを選び、試行錯誤するのも、この釣りの魅力の一つです。

私がよく行く溪流は、八甲田、奥入瀬方面や大館方面です。人がほとんど立ち入らない場所だからこそ、手つかずの自然が残っています。美しい自然に触れ、溪流の穏やかな流れを見つめていると、日々の疲れやストレスが一気に吹っ飛んでいきます。川の水が流れる音、風の音、虫の鳴く音しかない空間で、たった1人のんびりと釣りをしていて、特別な遊び場が与えられたような、そんな気がします。

青森県、秋田県の場合、溪流釣りのシーズンは4月から9月末までと決まっています。

北東北の場合、春先はまだ川の脇に雪が少し残り、水も10度を下回るくらい冷たく、まだ雪解け水もあり水量も多いです。5月中旬頃になると木々が芽吹き、山は一気に新緑に包まれます。こうして葉をつけるようになると木々が一気に周りの水を吸い込み始め、それに伴って川の水位もグッと下がり、山が目覚ましていくような雰囲気を感じることができます。やがてカゲロウやトビケラが溪流の周りを飛び始め、それを狙ってイワナが飛びつく「ライズ」も見られるようになります。そうするとフライフィッシングのシーズンがいよいよスタートします。そのあと、夏の溪流、秋の溪流を通して季節の移り変わりを感じながら釣りができることが、これ以上ない楽しみです。

特定の条件が揃った時に起こるスーパーハッチという現象も圧巻です。水生昆虫がタイミングを合わせたかのように何万匹も一気に羽化する現象で、魚もフライマンも歓喜する瞬間です。私も一度しか遭遇したことはありませんが、そこら中でライズが起こり、静かだった溪流が一気に騒々しく、生き生きとした空間に変わります。

山奥の溪流は、決して気軽に訪れられる場所ではありません。それでも、そこには日常では味わえない自然の美しさや、特別な時間が流れています。機会があれば、ぜひ溪流の魅力に触れてみてください。



林道を車で 40 分ぐらい進んだ山奥にある溪流です。
有名な溪流で、県外ナンバーもたまに見かけます。



夏の暑い日の溪流です。
日陰にいと涼しく、川の水もゆっくりと流れ、心地よいです。



フライです。(これはパラシュートフライ)
一つのフライを作るのに、5～6種類くらいの素材を使って作ることもあります。軽く、表面張力によって水に浮かびます。



釣れた魚はリリースです。
また遊んでくれる時まで。